

かすみがうら市の概要



茨城県かすみがうら市議会

令和5年4月

かすみがうら市の概要

目次

I 市章、市のシンボルマーク	1
1 市章	1
2 シンボルマーク	1
市の花	1
市の木	1
市の鳥	1
II 市の概況	2
1 位置と沿革	2
(1) 位置	2
(2) 地勢・気候	3
(3) 沿革	3
2 人口・産業	4
(1) 人口・世帯数の推移	4
(2) 農業の推移	5
(3) 工業の推移	6
(4) 商業の推移	7
3 財政	8
(1) 各会計予算総括表（令和5年度当初予算）	8
(2) 一般会計予算の内訳	9
ア 歳入	9
イ 歳出	10
III 議会	11
1 議会の概要	11
(1) 議員定数	11
(2) 年齢別、期数別構成（令和5年4月1日現在）	11
(3) 本議会開会状況（令和4年度）	11
(4) 質問及び質疑	12
(5) 常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会開会状況（令和4年度）	12
ア 常任委員会	12
イ 議会運営委員会	13
ウ 特別委員会	13
エ 議会広報	13
(6) 傍聴者の状況（令和4年度）	14

2 議会関係予算等	14
(1) 議会関係予算 (令和5年度当初予算)	14
(2) 議員報酬等	15
ア 議員報酬、期末手当	15
イ 政務活動費	15
(3) 議会事務局の機構	16

Ⅰ 市章、市のシンボルマーク

1 市章



水辺や野山にいつまでも鳥が訪れる豊かな美しいまちのイメージとともに、かすみがうら市の未来へのはばたきを象徴しています。青を基調とした色使いと二重の輪は霞ヶ浦そのものと、新しく誕生した市域の調和を表しています。

2 シンボルマーク

平成19年12月に制定しました市の花（あじさい）、市の木（くり）、市の鳥（うぐいす）をデザイン化し、市のシンボルデザインとして、市民のみなさんに親しまれています。



市の花

紫陽花（あじさい）

小さな花が一つに集まり、さまざまな土地に順応して大きな花を咲かせる姿に、市民の和と繁栄への願いを込めています。

市の木

栗（くり）

古くから栽培され、全国有数の産地として知られており、枝もたわわに実る姿に、豊かなめぐみへの願いを込めています。

市の鳥

鶯（うぐいす）

春を告げる鳥として、心を和ませてくれる美しい鳴き声に、明るく希望にみちた将来への願いを込めています。

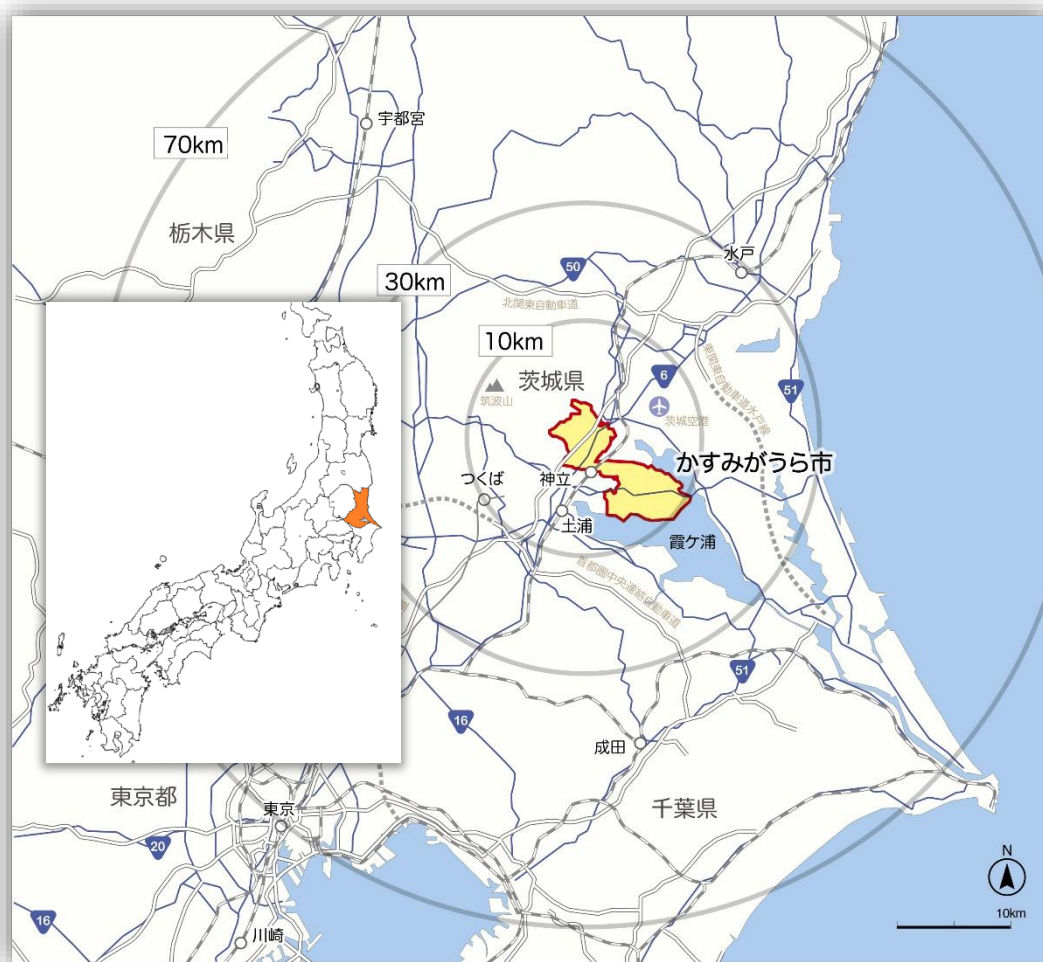
II 市の概況

1 位置と沿革

(1) 位置

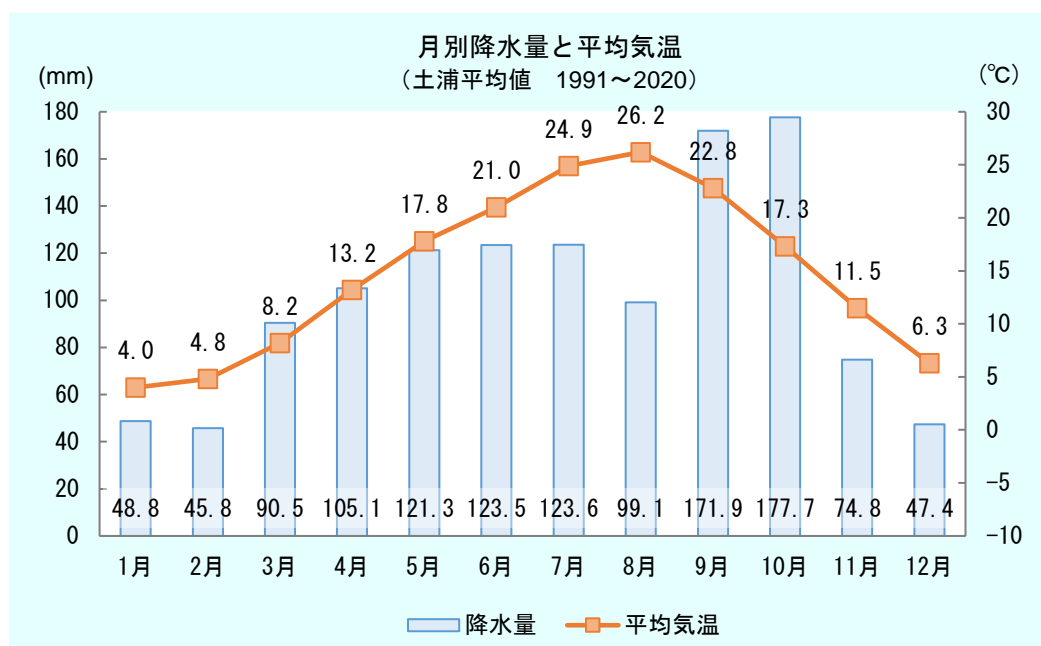
本市は、我が国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」と筑波山系南麓にはさまれ、首都東京へ約70km、県都水戸市へ約30km、つくば市へ約10kmの距離に位置しています。

幹線交通網として、JR常磐線、千代田石岡インターチェンジが置かれている常磐自動車道、国道6号、国道354号を有するなど、立地条件に恵まれた田園都市です。



(2) 地勢・気候

本市の総面積は、156.60 平方 km（うち霞ヶ浦水面の面積は 37.87 平方 km）で、南北に約 16 km、東西に約 19.5 km となっており、中央部がくびれた形状をしています。その大部分は、標高 25m 前後の新治台地で西端の標高約 380m の山々から霞ヶ浦湖岸の低地へと続くなだらかな地形を有しています。北部には恋瀬川と天の川が流れ、南部には菱木川と一ノ瀬川が流れており、南東部で霞ヶ浦に接しています。そして、台地部には畑や平地林が、霞ヶ浦沿岸の低地部一帯には水稲やレンコンなどの水田が広がっています。また、霞ヶ浦や筑波山系の山々の影響を受けて、年間を通じて穏やかな気候で自然災害が比較的少ない地域です。



出典:気象庁ホームページ

(3) 沿革

本市は、各所から貝塚や古墳群などが発見され、縄文時代以前からすでに人々の暮らしが展開されていたことが分かっています。

中世から江戸時代にかけては、複雑な所領関係の中、霞ヶ浦周辺の農業・漁業の発達や本陣が設けられた稲吉宿など水戸街道沿道の繁栄に伴い発展してきました。

明治 22 年の市制・町村制の施行により本市の基礎となる 9 カ村が成立した後、いわゆる昭和の大合併が進んだ昭和 29 年には、9 カ村のうち志筑村、新治村、七会村の合併により千代田村が誕生、その翌年には、下大津村、美並村、牛渡村、佐賀村、安飾村、志土庫村の 6 カ村が合併して出島村が誕生しました。

その後、両村の人口は工業団地の開発や交通体系の整備などに伴い増加を続け、千代田村は平成 4 年に町制を施行、また、出島村は平成 9 年に霞ヶ浦町へと名称変更するとともに町制を施行し、両町は発展してきました。そして、平成 17 年に両町は合併し、「かすみがうら市」としてのスケールメリットと地域特性を生かしながら均衡ある発展を続けています。

2 人口・産業

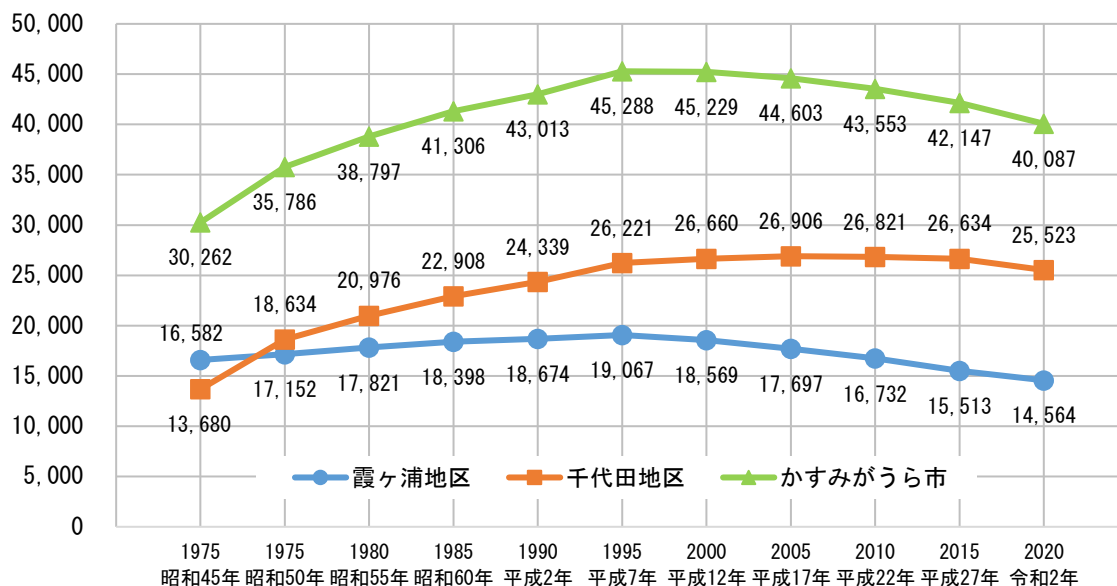
(1) 人口・世帯数の推移

かすみがうら市の人口は1995(平成7)年まで増加していましたが、それ以降は人口減少に転じ、2020(令和2)年の国勢調査では40,087人(1995(平成7)年人口の88.5%)となっています。

霞ヶ浦地区では人口減少傾向(2020(令和2)年人口は1995(平成7)年人口の76.3%)が著しく、千代田地区ではほぼ横ばい(2020(令和2)年人口は1995年(平成7)年人口の97.3%)です。

茨城県常住人口調査における近年の動向をみると、微減傾向にあり、2022(令和4)年4月1日現在は、39,515人となっています。なお、世帯数は、横ばい傾向にあります。

■人口の推移〔国勢調査〕



※ かすみがうら市は2005(平成17)年に霞ヶ浦町と千代田町の合併により誕生しました。そこで、合併前の区域での推移も示しています。

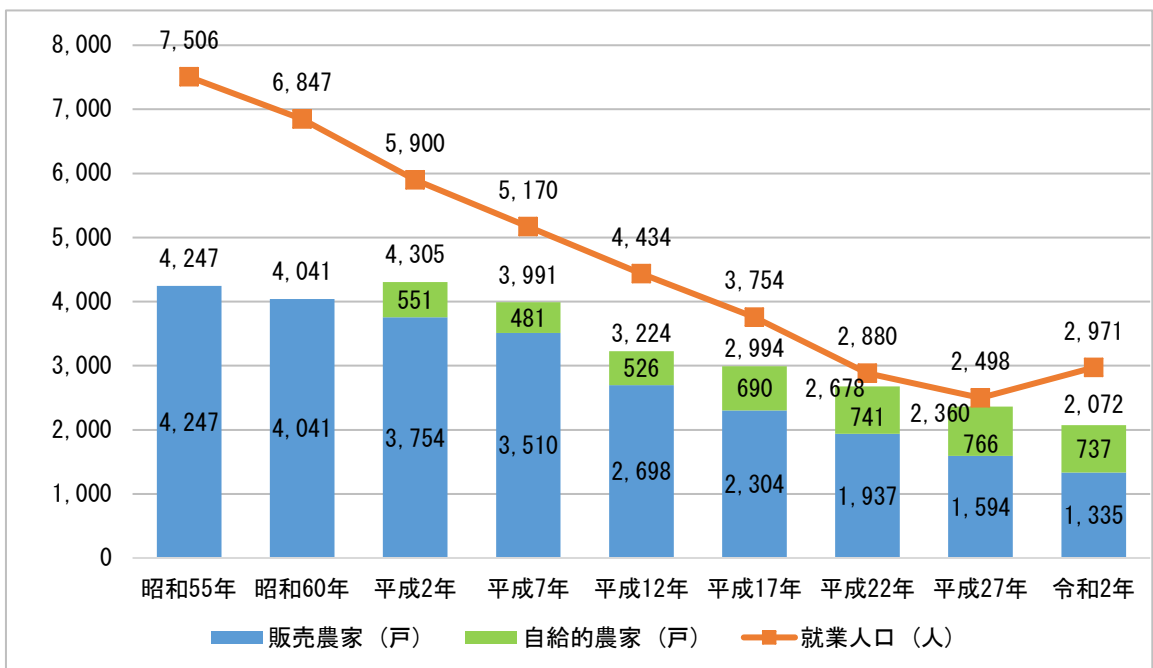
(2) 農業の推移

本市の農家数をみると、2020(令和 2)年では販売農家が 1,335 戸となっており、1980(昭和 55)年から一貫して減少傾向にあります。一方で、自給的農家は 1995(平成 7)年より増加傾向にあり、2020(令和 2)年では 737 戸となっており、全体の 3 割を占めています。

また、就業人口をみると 1980(昭和 55)年から一貫して減少傾向にあり、2015(平成 27)年は 2,498 人で 1980(昭和 55)年時点の 3 分の 1 となっています。

■ 専業・兼業別農家数及び就業人口の推移〔農林業センサス：各年 2 月 1 日現在〕

	販売農家 (戸)		自給的農家 (戸)	総数 (戸)	就業人口 (人)
	専業農家 (戸)	兼業農家 (戸)			
昭和 55 年	784	3,463	—	4,247	7,506
60 年	713	3,328	—	4,041	6,847
平成 2 年	568	3,186	551	3,754	5,900
7 年	452	3,058	481	3,510	5,170
12 年	424	2,274	526	3,224	4,434
17 年	391	1,913	690	2,994	3,754
22 年	443	1,494	741	2,678	2,880
27 年	473	1,121	766	2,360	2,498
令和 2 年	1,335		737	2,072	2,971



- ※ 「専業農家」とは、世帯員のなかに兼業従事者が 1 人もいない農家をいう。
「兼業農家」とは、世帯員のなかに兼業従事者が 1 人以上いる農家をいう。
「自給的農家」とは、経営耕地面積 30a 未満かつ農産物販売金額が年間 50 万円未満の農家をいう。1985(昭和 60)年以前は自給的農家の分類はなし。
「就業人口」は令和 2 年の調査から集計廃止のため、茨城県市町村概況より引用。

(3) 工業の推移

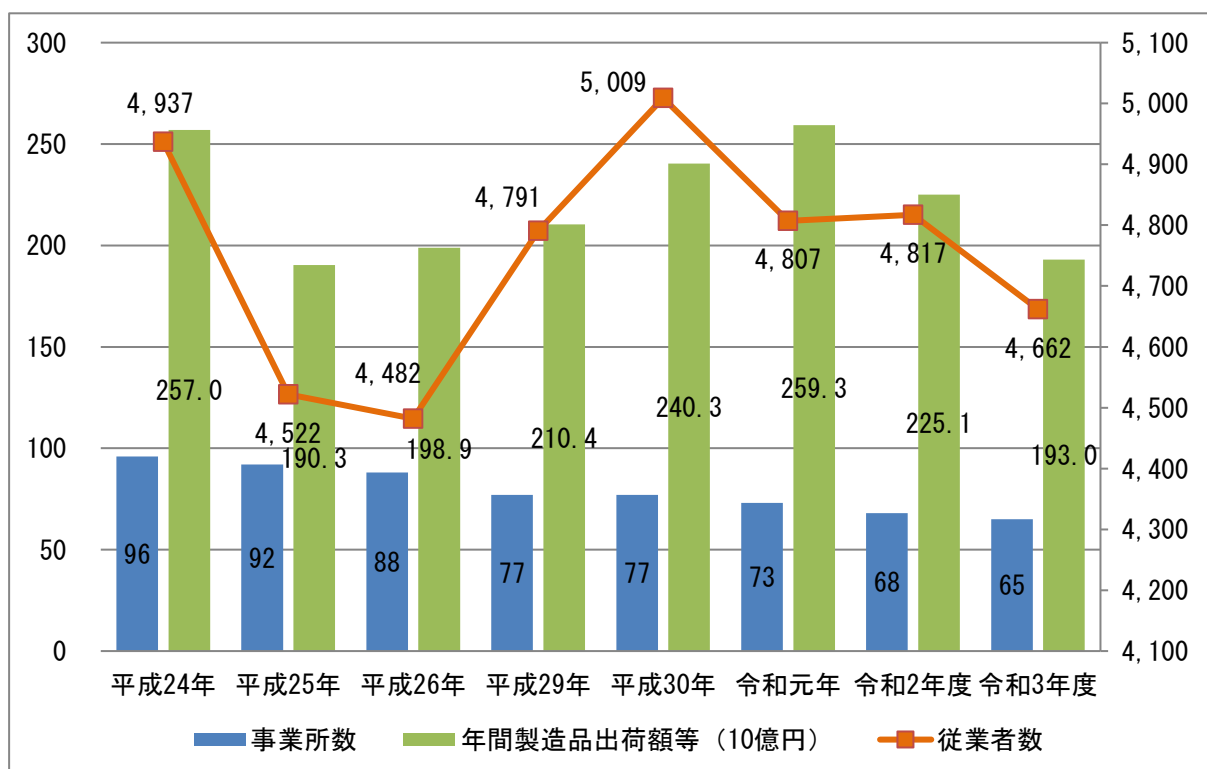
本市の事業所数をみると、2020(令和2)年では68事業所となっており、2013(平成25)年以降、減少傾向となっています。従業員数は、2018(平成30)年までは増加傾向にありましたが、2019(令和元)年以降は減少傾向にあります。

また、年間製造品出荷額等をみると、2019(令和元)年まで増加傾向にありましたが、2020(令和2)年から減少が続いています。

■事業所・従業者数及び年間製造品出荷額等の推移

〔茨城の工業（工業統計調査結果報告書，茨城県）〕

年次	事業所数	従業員数（人）	年間製造品出荷額等 （10億円）
平成22年	87	4,455	190.4
24年	96	4,937	257.0
25年	92	4,522	190.3
26年	88	4,482	198.9
29年	77	4,791	210.4
30年	77	5,009	240.3
令和元年	73	4,807	259.3
2年	68	4,817	225.1
3年	65	4,662	193.0



※ 2011(平成23)年、2015(平成27)年、2016(平成28)年は、経済センサス-活動調査を実施するため、上記の調査を実施せず。

※ 2021(令和3)年から、茨城県市町村概況を参照。

(4) 商業の推移

本市の商店数をみると、2021(令和3)年では254店となっており、1999(平成11)年以降減少が続いています。

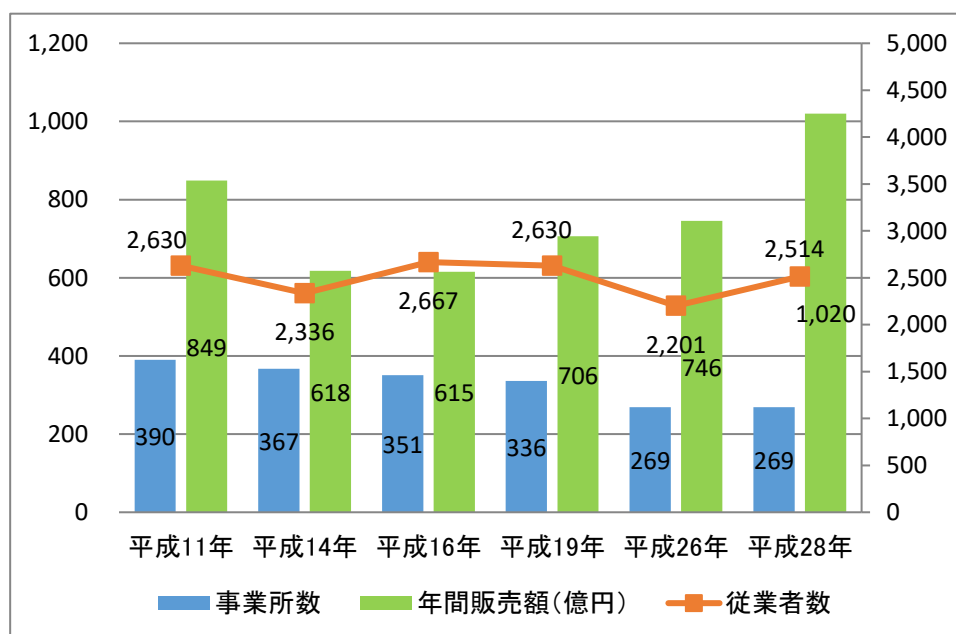
従業員数は、1999(平成11)年から変動はありますがやや減少傾向にあり、2021(令和3年)では2,149人と落ち込んでいます。

年間販売額をみると、従業員数と同様に2002(平成14)年に減少しましたが、卸売業の販売額増加に伴い、2016(平成28)年には1,020億円となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で、2021(令和3)年では663億円に減少しています。

■卸売・小売業に係る商店・従業員数及び年間販売額の推移

[商業統計調査結果報告書]

年次	事業所数	従業員数(人)	年間販売額(億円)
平成11年	390	2,630	849
14年	367	2,336	618
16年	351	2,667	615
19年	336	2,630	706
26年	269	2,201	746
28年	269	2,514	1,020
令和3年	254	2,149	663



※ 2016(平成28)年以降は、経済センサス-活動調査として調査を実施。

3 財政

(1) 各会計予算総括表（令和4年度当初予算）

（単位：千円）

一般会計・特別会計	令和5年度	令和4年度	比較
一般会計	18,148,000	19,565,000	△1,417,000
特別会計	9,071,500	8,817,200	254,300
国民健康保険	4,338,000	4,080,000	258,000
後期高齢者医療	1,001,000	961,000	40,000
介護保険	3,732,500	3,776,200	△43,700
合計	27,219,500	28,382,200	△1,162,700

（単位：千円）

水道事業会計		令和5年度	令和4年度	比較
収益的収支	収入	1,054,085	1,062,066	△7,981
	支出	1,052,133	1,009,938	42,195
資本的収支	収入	479,011	672,001	△192,990
	支出	774,271	1,000,659	△226,388

（単位：千円）

下水道事業会計		令和5年度	令和4年度	比較
収益的収支	収入	1,398,865	1,346,525	52,340
	支出	1,398,865	1,346,525	52,340
資本的収支	収入	733,611	679,876	53,735
	支出	1,010,485	961,552	48,933

(2) 一般会計予算の内訳

ア 歳入

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	
1 市税	5,692,708	31.4	5,484,893	28.0	3.8
2 地方譲与税	230,384	1.3	229,448	1.2	0.4
3 利子割交付金	2,493	0.0	2,632	0.0	△5.3
4 配当割交付金	34,064	0.2	19,193	0.1	77.5
5 株式等譲渡所得割交付金	22,414	0.1	30,994	0.2	△27.7
6 法人事業税交付金	77,000	0.4	75,551	0.4	1.9
7 地方消費税交付金	988,876	5.4	895,493	4.6	10.4
8 ゴルフ場利用税交付金	123,000	0.7	126,000	0.6	△2.4
9 環境性能割交付金	20,000	0.1	19,600	0.1	2.0
10 地方特例交付金	32,860	0.2	33,000	0.2	△0.4
11 地方交付税	4,000,000	22.0	3,850,000	19.7	3.9
12 交通安全対策特別交付金	5,882	0.0	6,233	0.0	△5.6
13 分担金及び負担金	59,041	0.3	77,386	0.4	△23.7
14 使用料及び手数料	48,900	0.3	49,402	0.2	△1.0
15 国庫支出金	2,337,308	12.9	3,160,276	16.2	△26.0
16 県支出金	1,344,837	7.4	1,390,680	7.1	△3.3
17 財産収入	18,175	0.1	23,857	0.1	△23.8
18 寄附金	42,001	0.2	41,201	0.2	1.9
19 繰入金	922,610	5.1	1,038,580	5.3	△11.2
20 繰越金	220,000	1.2	220,000	1.1	0.0
21 諸収入	454,347	2.5	382,281	2.0	18.9
22 地方債	1,471,100	8.1	2,408,300	12.3	△38.9
合 計	18,148,000	100.0	19,565,000	100.0	△7.2

イ 歳出

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	
1 議会費	139,890	0.8	143,252	0.7	△2.3
2 総務費	1,898,245	10.5	3,375,219	17.3	△43.8
3 民生費	6,253,783	34.5	6,321,167	32.3	△1.1
4 衛生費	1,052,276	5.8	1,921,742	9.8	△45.2
5 労働費	29,699	0.2	27,066	0.1	9.7
6 農林水産業費	761,752	4.2	712,544	3.7	6.9
7 商工費	433,227	2.4	397,532	2.0	9.0
8 土木費	1,858,975	10.2	1,709,636	8.7	8.7
9 消防費	894,213	4.9	881,005	4.5	1.5
10 教育費	2,774,046	15.3	2,053,282	10.5	35.1
11 災害復旧費	2	0.0	2	0.0	0.0
12 公債費	2,001,892	11.0	1,972,553	10.1	1.5
13 予備費	50,000	0.3	50,000	0.3	0.0
合 計	18,148,000	100.0	19,565,000	100.0	△7.2

III 議会

1 議会の概要

(1) 議員定数

条例定数 16人 現数 16人

※ 直近の定数改正(20人→16人)は、平成22年12月10日(平成23年1月の一般選挙から適用)

※ 現議員の任期は、令和5年1月28日～令和9年1月27日

(2) 年齢別、期数別構成 (令和5年4月1日現在)

期数 年齢	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	計
30歳～	2							
40歳～			1					
50歳～	1	1	1					
60歳～	2	1	1	1		1	1	
70歳～			1	1		1		
計	5	2	4	2	0	2	1	16

(最年長 73歳 最年少 37歳 平均 59.31歳)

(3) 本議会開会状況 (令和4年度)

区分	6月 (定例会)	8月 (臨時会)	9月 (定例会)	12月 (定例会)	2月 (臨時会)	3月 (定例会)
提出議案 (議員・委員会議)	15件 (1件)	4件 (—)	19件 (1件)	21件 (1件)	2件 (—)	35件 (5件)
開会月日	6月7日	8月9日	8月30日	11月22日	2月7日	3月3日
閉会月日	6月22日	8月9日	9月21日	12月7日	2月7日	3月24日
会期	16日間	1日間	23日間	16日間	1日間	22日間
本会議日数	6日	1日	6日	6日	1日	5日
一般質問 (日数・人数)	3日 9人	—	3日 8人	3日 9人	—	3日 9人
緊急質問	—	—	—	—	—	—

(4) 質問及び質疑

区 分	議案質疑	一般質問	施政方針に対する質問
時間制限	なし	質問及び答弁を含め、1議員につき90分以内	質問及び答弁を含め、1議員につき30分以内
回数	一問一答方式(3回)	なし	なし
通告制	あり	あり	あり
通告内容	要旨	要旨・質問形式	要旨
通告制限	本会議第1日目にあたる日の午後5時まで	議長が指定する日	本会議第1日目にあたる日の午後5時まで

※本来は上記表のとおりですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一般質問(質問及び答弁を合わせて)の時間を、令和4年第3回定例会までは一人45分以内、令和4年第4回定例会からは一人60分以内の実施としました。

(5) 常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会開会状況 (令和4年度)

ア 常任委員会

区 分	委員構成	所管事項	委員会	現地調査等 (うち視察研修)
総務委員会	6名 (現員数 5名)	市長公室、総務部、消防本部、会計課及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属しない事項	10回 (33案件)	0回 (0回)
文教厚生委員会	5名	市民部、保健福祉部及び教育委員会事務局の所管に関する事項	9回 (35案件)	0回 (0回)
産業建設委員会	5名	産業経済部、都市建設部及び農業委員会事務局の所管に属する事項	7回 (22案件)	2回 (0回)

イ 議会運営委員会

委員構成	所管事項	委員会	現地調査等 (うち視察研修)
委員構成は6名で、各常任委員会から2名ずつ選出	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の運営に関する事項 ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ・その他議長の諮問に関する事項 	23回	0回 (0回)

ウ 特別委員会

区分	委員会	現地調査等	設置目的
令和4年第2回議案審査特別委員会	3回	—	令和4年第2回定例会に提案された議案等に関する審査
令和4年第3回議案審査特別委員会	2回	—	令和4年第3回定例会に提案された議案等に関する審査
令和4年第4回議案審査特別委員会	2回	—	令和4年第4回定例会に提案された議案等に関する審査
令和5年第1回議案審査特別委員会	5回	—	令和5年第1回定例会に提案された議案等に関する審査
決算審査特別委員会	5回	—	一般会計・各特別会計の歳入歳出の決算認定に関する審査
議会だより編集特別委員会	7回	—	議会だよりの編集・発行及び議会広報紙の充実に関する調査・研究

エ 議会広報

名称	かすみがうら市議会だより
発行	年4回(5月、8月、11月、2月の20日)発行
発行部数	13,500部×4回=54,000部(年間)
編集委員会	議会だより編集特別委員会(5名)

(6) 傍聴者等の状況 (令和4年度)

区 分	議場傍聴者	ライブ配信 アクセス数	計
令和4年第2回定例会	41人	2,022人	2,063人
令和4年第3回定例会	43人	2,896人	2,939人
令和4年第4回定例会	28人	687人	715人
令和5年第1回定例会	49人	2,248人	2,297人
計	161人	7,853人	8,014人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う各施設の一時休業により、視聴できない場合があります、また、本来、傍聴席20席のところ10席とし、以降の方は、議会中継モニター室を用意し、会議の様子の生中継を視聴いただきました。

2 議会関係予算等

(1) 議会関係予算 (令和4年度当初予算)

(単位：千円)

科 目	当初予算額	区 分	金 額
議 会 費	143,252	議 員 報 酬 等	86,415
		職 員 給 与 等	40,658
		旅 費	2,712
		交 際 費	600
		需 用 費	2,522
		役 務 費	37
		委 託 料	5,675
		使用料及び賃借料	1,262
		負担金、補助金及び交付金	3,331

(2) 議員報酬等

ア 議員報酬、期末手当

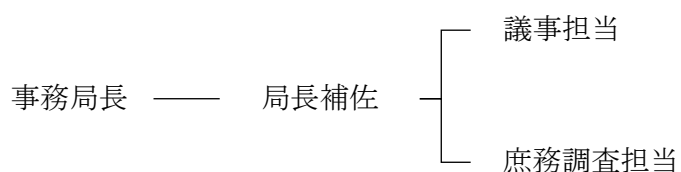
区 分	報酬額(単位:円)	期 末 手 当	
		6 月	12 月
議 長	月額 334,000	1. 625 月(支給割合) ×1.15(加算率)	1. 725 月(支給割合) ×1.15(加算率)
副議長	月額 285,000		
議 員	月額 269,000		

イ 政務活動費

交 付 額	議員 1 人あたり年額 15 万円 (月額 1 万 2,500 円)
令 和 4 年 度 予 算 額	2,400 千円
政務活動費を充てることができる経費の範囲	(1) 研究研修費 (2) 調査旅費 (3) 広聴費 (4) 資料作成費 (5) 資料購入費 (6) 広報費 (7) 事務費

(3) 議会事務局の機構

定員数 8人（現員数 5人）



かすみがうら市議会議場

かすみがうら市公式キャラクター
「かすみがうにゃ」は
かすみがうらの大地が生んだ、とっても
元気で可愛い妖精です。
広大な湖、そして筑波山系の山々など
豊かな自然の中で、日々の暮らしを
楽しみながら、いつでもどこでも
かすみがうら市を見守っています。

